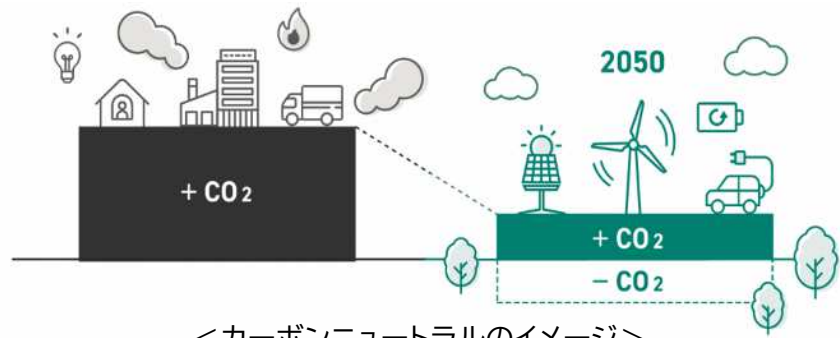


■カーボンニュートラルとは

カーボンニュートラルとは、地球温暖化を抑制するため、二酸化炭素（CO₂）をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量を等しくすることを意味します。

ここでの温室効果ガスの排出量と吸収量とは、いずれも人為的なものを指します。

カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。



<カーボンニュートラルのイメージ>

環境省資料

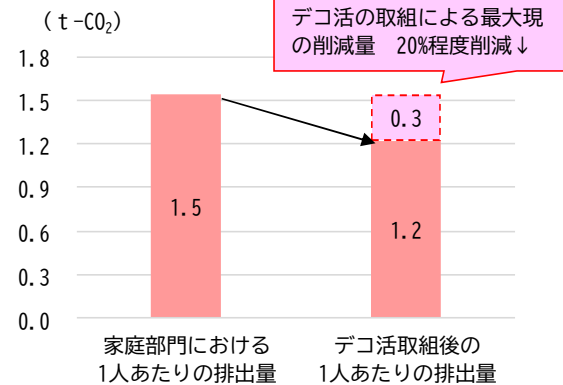
■デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る）の推進

熱海市の家庭部門におけるCO₂排出量は53.9千t-CO₂であり、これを熱海市の人口35千人で割ると市民1人あたりのCO₂排出量は1.5t-CO₂程度となります。

仮に市内で国民運動「デコ活※」の取組を最大限実行した場合、市民1人あたりの取組効果は最大で0.3t-CO₂となり、家庭部門の20%程度のCO₂削減効果が期待されます。

そのため市は省エネ行動や再生可能エネルギー導入などの取組のほか、ごみ・食品ロスの削減の取組を推進します。

※国が推進する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動であり、二酸化炭素を減らす脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を組み合わせた“デコ”な活動・生活を意味します。



<市民1人あたりの温室効果ガス排出量>

<デコ活による削減効果>

デコ活の取組	削減効果 (kg-CO ₂)
省エネ性能の高い住宅への引っ越し・断熱リフォーム	55.5
太陽光発電設備の設置	54.7
電力排出係数の改善	46.2
次世代自動車の購入	30.2
テレワークで移動自体を削減	30.0
カーシェアの利用	29.2
ZEH住宅の購入（省エネ住宅を購入）	15.2
高効率給湯器の導入	11.0
近距離通勤（5km未満）は自転車・徒歩通勤	9.6
エコドライブの実施	7.0
エアコンの買い替え	5.7
節水（ガス使用量削減）	4.7
冷蔵庫の買い替え	4.4
ウォームビズ	3.2
クールビズ	2.7
5km以上の通勤も月1日は公共交通機関を利用	2.1
ごみの削減（分別収集・3R）	1.7
食品ロスの削減	0.6
スマート節電（HEMS導入）	0.5
LED等高効率照明の導入	0.5
家庭エコ診断の実施	0.2
合計	315

<デコ活の効果と取組のイメージ>

LED等高効率照明の導入

家電製品を買いかえるときは、省エネ性能の高いものを選ぶ。

次世代自動車の導入

次世代自動車の導入のほか、カーシェアにより、移動にかかるCO₂削減に取り組もう。



ごみ・食品ロスの削減

ごみの分別とリサイクルに取り組もう。残さずに食べて食品ロスを減らそう。





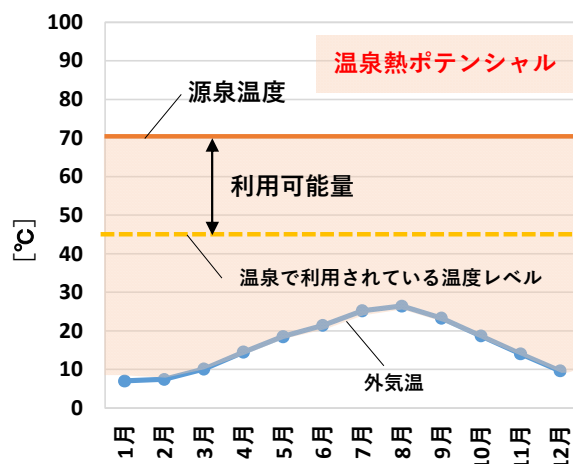
温泉熱をうまく利用すると温室効果ガスを削減できるって本当？



熱海温泉PR公式
キャラクター
『妖精のあつお』

本当あつ。温泉熱とは、源泉温度と外気温の温度差に温泉湧出量をかけたエネルギーと定義され、温泉熱による最大限のエネルギー資源量あつ。

温泉の温浴以外にも、暖房や給湯などにも有効に活用できる可能性を秘めているあつ。



<温泉熱ポテンシャルの定義>

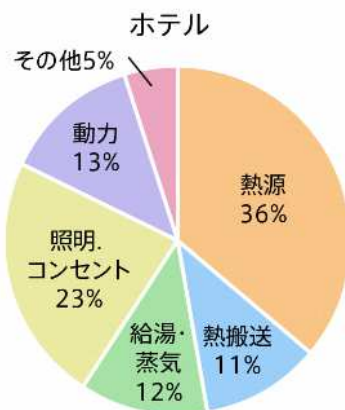


旅館・ホテルでどれくらい省エネになるの？



熱海市内の温泉旅館・ホテルでは、温泉のシャワーや調理場のお湯をつくるために重油ボイラーが使用されていたり、冬場の暖房の熱源に電気や化石燃料が使用されているあつ。

このようなボイラーや暖房における熱源の代わりになるため、大幅な温室効果の削減が期待されるあつ。



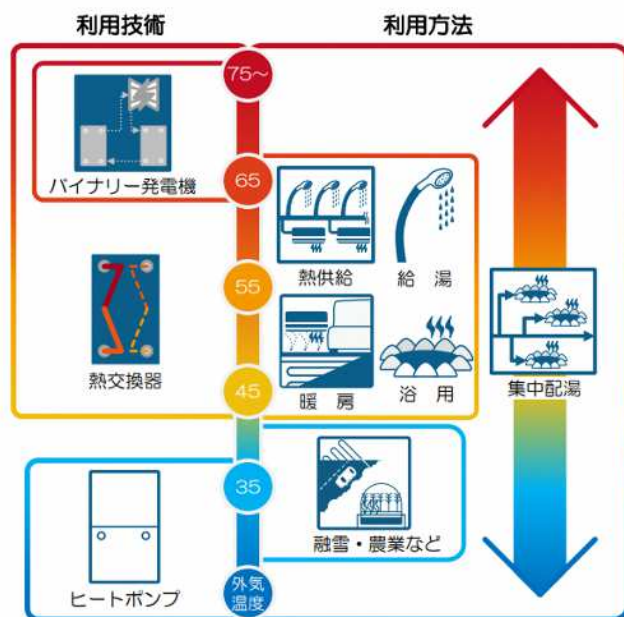
<ホテルのエネルギー利用の内訳>
環境省資料



温泉熱を利用する技術ってどんなものがあるの？



利用する温泉の温度によって、熱交換器やヒートポンプ（化石燃料を燃やさずに空気の中にある熱エネルギーを集めて空調や給湯などに使う技術）による熱利用のほか、温泉が高温の場合はバイナリー発電機により電気をつくることもできるあつ。



<温泉熱を利用する技術>
環境省資料